

平成27年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成27年6月24日（水）

18時30分～20時

場 所：大井小学校

出席者：間宮町長、露木副町長、川野企画財政課長、横井副主幹、立川主査

事務局：大澤町民課長、山本主任主事、小笹主任主事

参加者数：28人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 相和幼稚園・相和小学校の運営について、露木副町長より説明

(2) 第5次総合計画「おおいきらめきプラン」後期基本計画について、立川主査より説明

(3) マイナンバー制度について、横井副主幹より説明

【質疑・応答】

○ 総合計画とは、町民と行政が情報を共通化したツールであるのではないかと。HPを見たら、総合計画審議会が非公開とすることとなっている。閉鎖的に議論をしていくのではなく、風通しの良い自由な環境の審議会となることをお願いしたい。

また、金太郎飴のような総合計画になってしまうのでは、といった議論があったようだが、コンサルタントに任せっぱなしにするのではなく、職員自ら、例えばワークショップ等ではファシリテーターになるなど、職員の実力をつけていくべきではないか。

町民アンケートの結果を見ると、町民は住みにくいと考えているのではない。職員に話をしに行くとすぐに「お金がない」と言われてしまう。そうした状況に希望を持っていないのではないかと。

→ 審議会については、議論の活性化を目指すために非公開とした。議事録については、ホームページで公開している。また、総合計画策定にあたっては、コンサルタント任せにならないように進めていく。そうした中で職員の実力もついていくものと考えている。

○ ホームページを見られない方もいる。工夫が必要では。

→ 広報紙でホームページを見られない方は連絡いただけるよう広報することも考え方としてある。

- 人口減少している中で、どういった方を目標、ターゲットにしていくのか見えてこない。昔は大井町に人が集まってきたが、最近では開成町に住みたいという人が多い。若い人が来ないとこれからの大井町はない。補助を受けるべきはこれまで町に功労してきた高齢者ではなく、これからを担う人ではないか。小児医療費の助成を中学まで拡大してほしいといった話が地域の集まりで出たとき、高齢者にこそ使うべきだ、といった高齢者の方もいる。大井町は若い人に補助がない。だから出て行ってしまおう。
 - 交通網の違いなど、他の町へ行きたいという人もいるであろうが、特定の世代に来てもらいたいとターゲットを決めているわけではない。児童コミュニティの対象年齢拡大、小児医療費の対象年齢拡大、ファミリーサポートの充実、幼稚園運営の充実などしているの、これらを通じて転入したいと思ってもらえるような町にしたい。

- 町は2億数千万円を「きらめきの丘おおい」に投資した。整備した古川は湘南ベルマーレにも出資しており、そのベルマーレと大井町長と一緒に写真に写っている。どういった関係なのか。また、古川は大井町への地域貢献義務を果たしているのか。「足柄大井ソーラーウェイ」の竣工式において町長は、「町内の電力の80%をまかなうことができる」と発言したが、実際には町内で電力利用することはできないが、どのように考えているのか。
 - 湘南ベルマーレは県西地域2市8町もホームタウンとしているので、町としても応援していきたい。平塚市は出資しており、町にも出資してほしいと話があったが、財政的に厳しいため断った。個人的に出資をし、応援している。古川は地域にソーラー発電を導入したり、夏祭りなどにも支援したりしている。これからも地域貢献いただけるものと考えている。ソーラーウェイについては、町内の電力の80%相当の発電能力があるということで発言させていただいた。

- 「スマートタウン化の促進」と書かれているが、どこでどういったことを考えているのか。区画整理の場所のことか町全体のことか？
 - 再生可能エネルギー等を利用するとともに、健康管理や電気バスの運行等もあわせて実施していくこともアイデアとしてある。場所は大井中央区画整理地内も候補の一つであると考えている。

- 藤沢のSSTのようなものがスマートタウンということではないか。個々の家庭などにおいて環境に取り組むことはエコタウンというのでは。スマートタウンはインフラに相当お金がかかるので、区画整理地内で行うことも一つではないか。
 - 現時点でどこまでできるかは定まっていない。計画策定の中で考えていく。

- マイナンバーの通知で、認知症になっている人、成年後見人がついている人などに対する周知方法は
 - 高齢者の方などへの対応は配慮していきたい。全国的なことなので、具体的なことは情報収集して対応していきたい。

- ICT業者で事業者の選定はできたのか。また、町に専門家はいるのか？
 - 業者は決まっている。専門の人はいないが、ある程度詳しい人はいる。

- 各課に要望書などを出しているが、対応がよくない。接遇を改善してほしい。
 - 庁内で情報共有する。

- 参加者が少ないが、これをどうとらえるか？休日に開催するなど、開催日を検討しないのか？
- 参加者は少ないと感じる。過去には休日にも開催していたが、参加者が1人程度であったことから、現在の形になった経緯がある。多くの人に来てもらうよう開催日は検討する。